



吹田市議会議員

## 政策マニフェスト全項目(4)

政策リーフレットに紙面の制限で載せきれなかった全項目を發表します。

**4つの約束**を掲げています。4回に分けてお届けしますのでご覧ください！

※ いけぶち佐知子『政策リーフレット』(WEBでも閲覧可能)



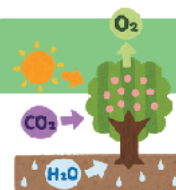
## みえる、まもる、ささえる、つくる

- 市政が見える
- いのちを守る
- ひとを支える
- まちをつくる

### 約束

### まちをつくる

### 自然・環境・住・文化・健康・まちづくり



宅地開発に伴い既存のみどりが失われています。みどりには、ヒートアイランド現象の緩和、心の安らぎなど、さまざまな効用があります。市民、事業者と連携、協働し、豊かな社会をめざします。

### 豊かな環境

#### ● 公共施設への再生可能エネルギー導入を促進します

地球にやさしい学校として、エコスクール(環境を考慮した学校施設)。再生可能エネルギー設備の導入や校舎等の断熱性の向上、校庭の芝生化を提案します。

【吹田市の現状】 ※ 2018年11月議会答弁から

太陽光発電設備を、小学校3校、中学校2校の合計5校に設置。2016年度から毎年2校への設置を目標とし、取り組んでいる。公立幼稚園及び認定こども園では、毎年エコスクール活動年間計画を作成。創意工夫をして節水・節電・ごみの分別・リサイクル等の取り組みを進めている。

#### ● 住環境向上に向け、環境配慮のまちづくりを進めます

2004年7月1日、土地利用における良好な住環境の形成・保全、安全で快適な都市環境の創造を実現することを目的に「吹田市開発事業の手続等に関する条例」(略称「好いたすまいる条例」)が施行されました。

緑の割合、駐車場の附置義務の台数、周辺環境保全あるいは良好にしていくための基準などが定められており、基準に沿った計画を立て、計画の構想段階から周辺住民への説明を行い、住民意見に耳を傾けることを求めています。条例が形骸化することなく、本来目的が達成されることを求めます。



無電柱化

#### ● 特定外来種の駆除を計画的に進めます

特定外来生物の駆除について、啓発活動だけでなく、防除計画を策定し、市民との協働で駆除する仕組みを作るよう提案しています。



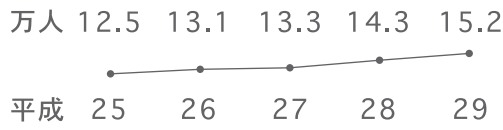
● **誰もが安全に移動できるまちをめざします**

山田千里丘地区を走るすいすいバス(コミュニティバス)は年々利用者数が増えており、春日千里山地区にもコミュニティバス運行の検討がされています。

地域公共交通政策により、地域のまちづくり活性化、地域コミュニティの再生、地域住民の健康増進、商店街の振興、観光の振興、地球環境問題の解決などさまざまな効果が期待できます。また、立地適正化計画の根拠法である改正都市再生特別措置法では、初めてコンパクトなまちづくりと公共交通によるネットワークの連携を具体的に措置しています。交通弱者対策イコール地域への投資として地域公共交通政策に取り組んでいきます。

【吹田市の現状】

山田千里丘地区を運行するすいすいバス乗客数の推移(徐々に増加傾向にある)



● **市営住宅の保証人免除規定の整備をめざします**

2020年4月、改正民法が施行されると、保証人に対して保証限度額を明示する必要があり、その限度額が高額となると、結果として保証人を選任できず入居できないケースが想定されます。公営住宅法第1条にある公営住宅の目的に反することになるため、保証人免除規定が条例にある自治体もあり、免除規定を設けるように求める国の通知もあります。保証人免除規定の整備を求めます。

【吹田市の現状】 ※ 2018年2月議会答弁から

住宅を確保することが困難な低額所得者の居住の安定を確保する、住宅セーフティーネットの中核としての機能を果たす市営住宅に、低額所得者でありながら保証人を選任できず、入居応募できないという一面もある。他市における保証人制度に関する規定整備や、市営住宅の役割、また家賃滞納の改善状況など、総合的な観点から保証人制度について検討したい。

自然・みどり

● **花とみどりでまちを彩ります**

安全柵の緑化、植物の里親(種から育てる花苗)事業、公共施設の屋上・壁面緑化、緑のカーテンを進めます。

街の顔である駅前や公共スペースにおいて企業が整備・管理する緑化施設(花壇、壁面緑化など)に企業名・商品名を載せた名称をつけることを提案します。



緑のカーテン

【吹田市の現状】 ※ 2018年11月議会答弁から

緑あふれる未来サポーター事業において、一部のボランティア団体が、市が管理する苗圃で育苗に取り組んでいる。今後、農地を対象にした「花とみどりふれあい農園推進事業種子配布及び助成金交付要綱」も参考に、新しい仕組みづくりを検討したい。

補助・助成

● **補助・助成制度の棚卸しをし、効果的な制度にします**

補助・助成制度について、部局を超えた棚卸(統合・廃止・新設)をすることで、重複を避け、漏れのない、バランス良い制度にします。わかりやすく、市民が使いやすい、申請しやすい制度にします。

★「いけぶち佐知子通信～未来にまっすぐ～」はマニフェスト全項目を4回に分載します★



■ **いけぶち佐知子のプロフィール**

子育て、環境、福祉、まちづくりの市民活動にかかわる「女性を議会に！無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ  
百条委員会委員(2012～2013年度)  
吹田市監査委員(2013年度)

1957年/和歌山県生まれ  
1979年/大阪大学薬学部卒業し、薬剤師免許取得  
1999年/市民のための政治を求め立候補し、初当選  
2015年～吹田市議会議員(5期目)  
2016年/吹田女性議員の会提案により、議会傍聴時の保育を実現  
2017年/議会広報委員として『市議会NAVI』を作成